



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔田 穂高  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 節郎 (TEL) 03-6803-0301  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,557	△12.2	1,931	52.7	1,927	50.8	1,399	76.8
29年3月期第2四半期	9,745	△22.7	1,264	186.8	1,277	172.0	791	237.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,388百万円(87.6%) 29年3月期第2四半期 739百万円(227.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	98.12	—
29年3月期第2四半期	55.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	49,223	38,814	78.9
29年3月期	50,648	37,853	74.7

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 38,814百万円 29年3月期 37,853百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	△18.7	2,200	14.6	2,200	13.1	1,400	—	98.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,263,000株	29年3月期	14,263,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	121株	29年3月期	121株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	14,262,879株	29年3月期2Q	14,262,879株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年11月16日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。この説明会で配布する資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、引き続き緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、景気の先行きについては、今後の米国政権の政策動向や東アジアを中心とする地政学的リスク、中国を始めとする新興国経済の不確実性等の影響から、依然として不透明感を払拭できない状況が続いております。

当社グループの主な顧客先であるパチンコホールにおいては、一部には積極的な動きも見られますが、総じて娯楽の多様化によるパチンコ参加人口の減少、低玉貸し営業の定着、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）」の施行によるギャンブル等依存症対策の観点から「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」が公布されるなど、引き続き先行き不透明な状況は続いていると認識しております。

このような状況下で当社グループの営業施策においては、パチンコホールの様々なニーズをタイムリーに拾い上げ、機動的に対応することで堅実に利益を確保し、ほぼ前期並みの売上総利益を確保することができました。また、前期実施した構造改革の効果で、人件費・地代家賃等の販売費及び一般管理費を抑え、純資産の部及び営業利益以下の段階利益を伸ばしております。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,557百万円（前年同四半期比12.2%減）、営業利益は1,931百万円（同52.7%増）、経常利益は1,927百万円（同50.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,399百万円（同76.8%増）となりました。

販売品目別の業績概況は、次のとおりであります。

機器売上高は、2,862百万円（前年同四半期比19.6%減）となりました。

カード収入高は、1,609百万円（同11.9%減）となりました。

システム使用料収入は、3,867百万円（同6.4%減）となりました。

その他の収入は、218百万円（同4.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は49,223百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,425百万円減少いたしました。

主な要因は、ユニット販売台数の減少による売掛債権704百万円及びリース投資資産の回収575百万円による減少であります。

(負債)

負債合計は10,408百万円となり、前連結会計年度末と比較し2,386百万円減少いたしました。

主な要因は、機器仕入金等815百万円の減少、希望退職関連費用850百万円及びリース債務613百万円の支払による減少であります。

(純資産)

純資産合計は38,814百万円となり、前連結会計年度末と比較し960百万円増加いたしました。

これは、利益剰余金が971百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付「平成29年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,476	12,664
受取手形及び売掛金	1,966	1,262
営業未収入金	643	549
有価証券	3,999	11,499
発行保証金信託	5,774	-
商品及び製品	1,464	1,237
原材料及び貯蔵品	283	321
供託金	2,608	8,468
その他	3,805	3,081
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	40,015	39,074
固定資産		
有形固定資産	469	447
無形固定資産		
その他	3,188	2,853
無形固定資産合計	3,188	2,853
投資その他の資産		
投資有価証券	5,608	5,562
その他	1,481	1,404
貸倒引当金	△115	△119
投資その他の資産合計	6,975	6,847
固定資産合計	10,633	10,148
資産合計	50,648	49,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,019	1,204
営業未払金	11	8
未払法人税等	341	596
引当金	163	134
その他	5,395	4,260
流動負債合計	7,932	6,202
固定負債		
引当金	101	72
退職給付に係る負債	543	348
その他	4,218	3,785
固定負債合計	4,862	4,206
負債合計	12,795	10,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,122
利益剰余金	27,208	28,179
自己株式	△0	△0
株主資本合計	37,830	38,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	12
その他の包括利益累計額合計	23	12
純資産合計	37,853	38,814
負債純資産合計	50,648	49,223

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,745	8,557
売上原価	5,404	4,444
売上総利益	4,340	4,112
販売費及び一般管理費	3,075	2,181
営業利益	1,264	1,931
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	8	9
貸倒引当金戻入額	16	7
その他	18	8
営業外収益合計	52	32
営業外費用		
支払利息	9	7
支払保証料	21	21
その他	8	7
営業外費用合計	39	36
経常利益	1,277	1,927
特別損失		
減損損失	-	5
特別損失合計	-	5
税金等調整前四半期純利益	1,277	1,921
法人税等	486	522
四半期純利益	791	1,399
親会社株主に帰属する四半期純利益	791	1,399



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	791	1,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△11
その他の包括利益合計	△51	△11
四半期包括利益	739	1,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	1,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。